

平成25年度トイレ意識調査の結果（小学校編）

平成26年3月27日

Q1.あなたは、学校のトイレで洋式と和式のどちらを利用しますか？
Q2.あなたが、洋式(和式)を使う理由、使わない理由を教えてください。
Q3.今後、学校のトイレに望むことは？

A1.集計結果

学年	洋・和	利用者数			利用率		
		男	女	計	男	女	計
1年	洋式	317人	288人	605人	72.9%	56.7%	64.2%
	和式	118人	220人	338人	27.1%	43.3%	35.8%
2年	洋式	326人	233人	559人	77%	56.8%	66.9%
	和式	100人	177人	277人	23.5%	43.2%	33.1%
3年	洋式	409人	296人	705人	76.2%	59.0%	67.9%
	和式	128人	206人	334人	23.8%	41.0%	32.1%
4年	洋式	434人	303人	737人	80%	57%	69%
	和式	107人	226人	333人	19.8%	42.7%	31.1%
5年	洋式	376人	280人	656人	72.3%	49.3%	60.3%
	和式	144人	288人	432人	27.7%	50.7%	39.7%
6年	洋式	443人	287人	730人	79.0%	55.8%	67.9%
	和式	118人	227人	345人	21.0%	44.2%	32.1%
全体	洋式	2305人	1687人	3992人	76.3%	55.7%	66.0%
	和式	715人	1344人	2059人	23.7%	44.3%	34.0%

☆この調査は市内各学校の協力のもと児童を対象に実施した無記名アンケートの結果を集計したものです。

回答者総数:6,051人
(うち男子:3,020人、女子:3,031人)

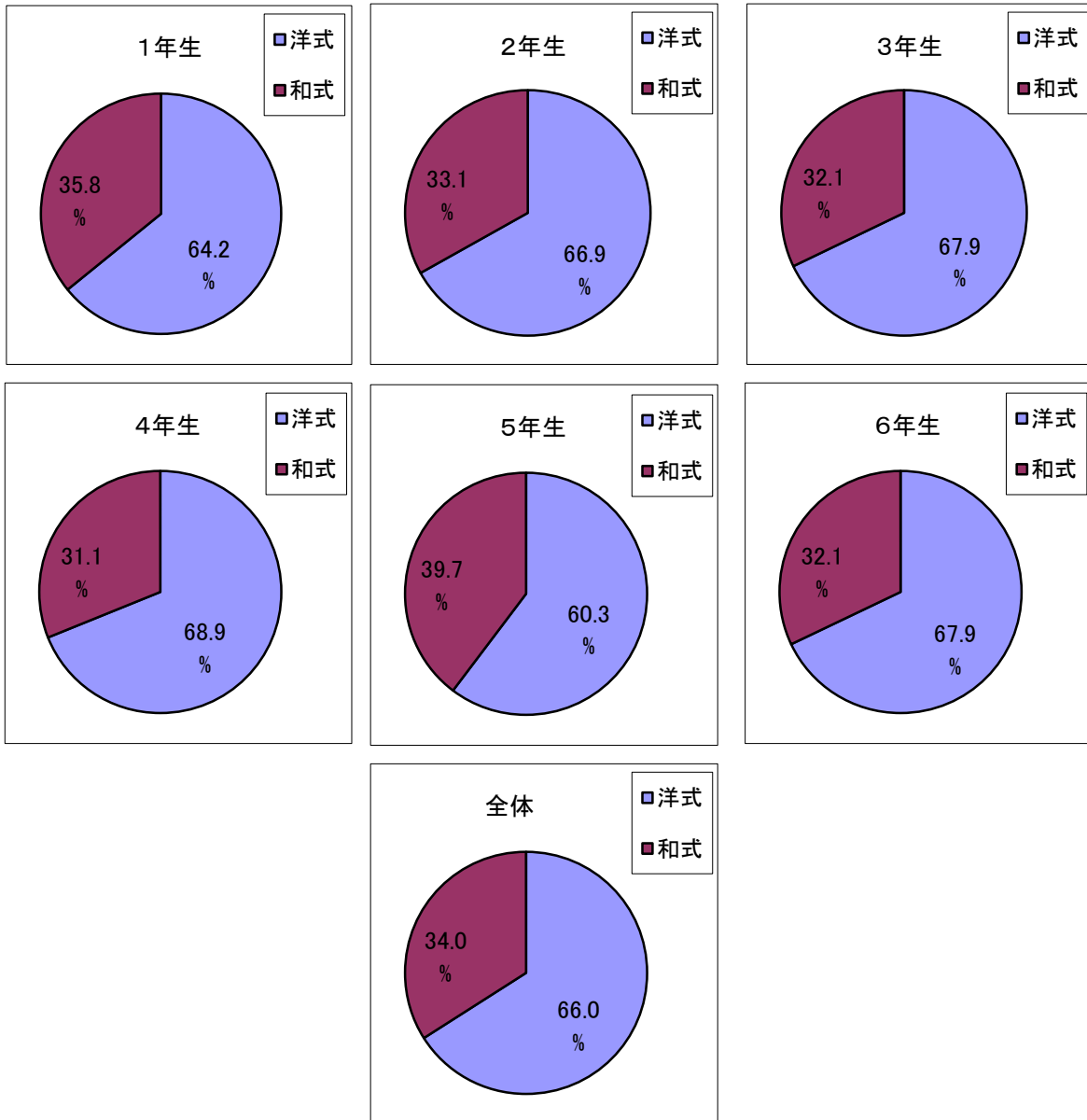
A2.洋式(和式)を使う理由、使わない理由

(洋式を使う理由)
・座って用が足せる ・家のトイレと同じだから ・落ち着くから ・和式が苦手だから ・きれいだから ・はみださないから ・服を汚す心配がないから ・和式の使い方がわからない など
(洋式を使わない理由)
・椅子に座りたくない ・便座が冷たいから ・便座が汚い気がする ・トイレの中がせまいから ・数が少なくて使えないから ・トイレトペーパーがとりずらいから など
(和式を使う理由)
・和式しか空いていないから ・椅子に座らなくてよいから ・保育園が和式だったので慣れている ・和式が使えるように練習している ・家と同じで慣れている ・入学以来使い慣れている ・筋肉が鍛えられる ・しっかりしゃがめば使いやすい ・ふたをしめなくてよいから など
(和式を使わない理由)
・使いにくい ・汚い気がする ・疲れる ・こわい ・家と違うから ・服を汚してしまいそうだから ・レバーを手で触りたくないから ・はみだしてしまうから ・足が疲れるから ・またぐのに抵抗がある ・物を落としたことがあるから など

A3.今後の学校トイレに望むこと

・臭くなくてきれいなトイレにしてほしい ・脱臭機能 ・自動照明 ・暖房便座 ・鏡が欲しい ・カラフルな色の床・壁 ・個室を広くしてほしい ・もっと室内を明るくしてほしい ・洋式トイレに手すりが欲しい ・水の流れをよくしてほしい ・音楽を流してほしい ・個室に衣服をかけるフックがほしい ・もっと小さめの便器があるとよい ・消音装置が欲しい(節水にもなる) ・換気しやすくしてほしい ・自動で水を流してほしい ・便座を拭く消毒液をつけてほしい ・シャワー機能があるといい ・いい匂いがするように欲しい ・男子トイレの小便器に仕切りが欲しい ・上履きのまま入れる床にしてほしい ・洋式のトイレを増やしてほしい ・使用中をわかりやすく表示してほしい ・水を流すボタンを壁につけて欲しい ・トイレトペーパーを取り替えやすくしてほしい など

小学校における洋式・和式トイレの利用率(男女混合)



☆調査結果の傾向および分析

調査の結果、洋式トイレの高い利用率が改めて確認されました。

一方、調査結果からは、練習(訓練)としてあえて和式トイレを利用するという興味深い意見も寄せられました。

近年、家庭からはめっきりと姿を消した和式トイレですが、公共施設などでは依然として多く設置されていることから、社会勉強的に和式トイレを体験するという役割も学校施設には求められているのかもしれない。

ただし、洋式トイレの数が不足していて和式トイレしか空いていないという現状も少なくないことから、この点については早急な対策が必要であると思われます。

また、これからのトイレに望むことでは、暖房便座やシャワー機能といった今や家庭で当たり前となった機能を付けることへの要望や、明るいトイレ(照明によるものやカラフルな床や壁の配色)の実現に向けた要望が数多く寄せられました。

これまで、学校のトイレは「臭い・汚い・暗い」の3Kと呼ばれ、社会的にも改善の必要性が訴えられてきましたが、今回あらためて子供たちがこの現状に不満を持つことを認識させられました。

現在進められている「トイレピカピカプロジェクト」を含め、この現状を真摯に受け止めた上で学校施設のもつ教育的かつ社会的役割も考慮した施設整備を行っていくことが非常に重要と考えられます。